

【件 名】	街路築造工事のうち側道整備工事（5―環4港南）	【事務所名】	第一建設事務所	
【工事場所】	東京都港区港南四丁目地内から同区港南二丁目地内	【受注者名】	徳倉建設株式会社	
【工 期】	令和5年10月2日から令和8年1月14日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 瀬戸 隆夫	

【工事概要】

本工事は、都市計画道路幹線街路環状第4号線（港区港南三丁目から江東区新砂三丁目に至る延長約28.8km）のうち、未整備区間の港区港南地区の側道を整備するものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）
環状第4号線（港南）の現道部工事は、競合工事の遅延により度重なる設計変更および工期延伸を伴う非常に厳しい施工条件下、相互通行から一方通行への交通切替という影響が大きな工事であった。交通管理者との協議に際し、分かりやすい的確な資料を作成し、関係機関との綿密な調整を重ねることで、交通への影響を最小限に抑えつつ、交通切替を実施した。

また、監理技術者は下水道管理者と積極的かつ適切に協議を行い、重要構造物である塩素接触層に対して細心の注意を払った施工管理を徹底するなど、品質・安全の確保にも大きく貢献した。



交通切替前

交通切替後

施工前

施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点
本工事は4つの工区に分かれており、各工区で他企業者との施工手順、う回路、工程調整を行いながら工事を進める必要があった。

◇ 特に工夫した点
本工事作業を主軸とした工事完了までの作業手順図、作業帯図を作成し、そこに他企業者工事の工程を参照し、各社の作業範囲を反映させることで、いつどの業者がどこで作業行えるかを可視化した。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感
調整ごとが多く、日割りのこまかい工程であったが、事業に係る工事（他企業者工事）を含めて計画通りに工事を進めることができた。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
土木工事で建設された構造物は多くの人が長く利用します。施工中は完成後も良い品質を保ち長く利用してもらえることを意識して従事することが大切だと思います。



工区中央交差点部の着前、着後比較